

平成 26 年 4 月 15 日

関係各大学長
関係各大学大学院研究科
関係各大学学部長 殿
関係各機関の長

国立大学法人お茶の水女子大学長
羽 入 佐和子 (公印省略)

特任教員の公募について (依頼)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

本学が申請していました博士課程教育リーディングプログラム<「みがかずば」の精神に基づきイノベーションを創出し続ける理工系グローバルリーダーの育成>が、平成 25 年度採択されました。

つきましては、本事業を統括するリーディング大学院推進センターにおいて本プログラムを推進する特任講師を、下記の要領にて公募いたします。貴学・機関関係者及び関係諸方面にご周知いただくとともに、適任者の推薦についてよろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。

なお、本プログラムでは、物理・数学・情報を基盤的素養として持ち、社会の様態やニーズのどのような変化にも柔軟に対応してイノベーションを創出し続け、グローバルな世界で活躍し、社会の即戦力となる理工系女性人材の育成を目指します。プログラムの内容に関しましては別紙及びウェブページ (<http://www.cf.ocha.ac.jp/leading/>) をご覧ください。

敬具

記

1. 職名及び人員 特任講師 1 名 (常勤・任期付)
2. 所 属 リーディング大学院推進センター
3. 勤務場所 お茶の水女子大学
東京都文京区大塚 2 丁目 1 番 1 号
最寄り駅：東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅又は有楽町線護国寺駅から徒歩 7 分
4. 職務内容 本プログラムの遂行において必要とされる業務。
業務には以下のものがあるが、そのうち (3) (6) (9) (10) の業務を主に担当していただく。
(1) 事業実施スケジュール管理
(2) 入試関連業務
(3) 産学官・国際連携の推進
(4) 大学院生の学修支援
(5) 履修課程の見直し及び学位に導く指導方法や評価方法の開発に関する研究、女性リーダー育成・グローバルな課題の資質開発研究
(6) スタディーコモンズ特任教員の活動支援
(7) 企画
(8) 広報
(9) 事業報告書作成
(10) その他、本事業推進に係る業務
5. 応募資格 (1) 高い見識を持ち、本事業を推進する意欲を持つ方
(2) 大学等において教育関連事業の実施経験を有する方が望ましい
(3) TOEIC850 点以上、あるいは、英語に関して native と同等の能力を有する方
(4) 修士の学位を有する方、もしくはそれと同等の学識を有する方
6. 雇用期間 平成 26 年 7 月 1 日以降なるべく早い時期～平成 27 年 3 月 31 日
ただし、本学の規定により雇用は年度毎とし、労使双方の合意により更新することがあり得る。また、更新は最長で 5 年までとする。
なお、採用日の前に本学と雇用契約があった者については、本学任期付職員規程第 3～4 条の規定により、直近の有期雇用契約終了日から、契約のない期間が一定以上経過していない場合は雇用を制限することがある。

7. 就業時間 8：30～17：15（月曜日～金曜日）を基本とする裁量労働制とする。
（上記時間は休憩時間60分を含む）
8. 休日・休暇 本学職員勤務時間、休暇等に関する規程による。
休日：原則として、土曜日、日曜日、国民の祝日及び年末年始（12月29日～1月3日）
ただし、業務の都合上、上記休日を勤務日として勤務することがある。
休暇：年次有給休暇、病気休暇、特別休暇
9. 給与 本学給与規程に基づき支給する。
基本年棒 360～420万円（能力経験等により決定する）
（基本年棒を12で割った額を毎月支給）
税金及び福利厚生費（雇用保険料、共済組合掛金）の自己負担分を控除する。
10. 手当 本学給与規程に基づき支給する。（ただし、通勤距離が2km未満の場合は、通勤手当を支給しない。また、採用日が月の中途の場合、通勤手当は翌月から支給する。）
なお、期末・勤勉手当の支給はなし。
11. 退職手当 支給しない。
12. 加入保険 労災、雇用保険、文部科学省共済組合に加入する。
13. 提出書類 (1)履歴書（写真貼付、学歴・職歴・受賞歴・所属学会・住所・E-mail アドレス等を明記の上、押印または署名のこと）
(2)本事業に関与し、女子大学において本事業を推進することに対する抱負。（700ワード程度の英文で作成すること）
(3)本事業の職務内容に関連する実績及び採用後に本事業に貢献できること。（700ワード程度の英文で作成すること）
(4)最終学歴に関する修了証明書
(5)TOEICの成績証明書のコピー（有する方のみ）
(6)応募書類返送用封筒（【備考】参照）
なお、(4)、(6)以外は、書式を原則A4判に統一すること。
14. 選考方法 (1)第1次選考 書類審査
選考結果は、郵送又は電子メールにて通知します。
(2)第2次選考 第1次選考合格者に対してのみ面接審査（平成26年5月を予定）
実施日時等は、第1次選考合格者に、第1次選考結果と併せて通知します。
なお、面接等に係る旅費、宿泊費等は応募者の負担とします。
最終的な選考結果は、本人宛に郵送又は電子メールにて通知いたします。
15. 提出期限 平成26年4月25日（金） 午後5時 必着
16. 提出先 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
国立大学法人お茶の水女子大学長 羽入 佐和子 宛
17. 問合せ先 お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科研究院自然・応用科学系教授 古川はづき
Tel: 03-5978-5317
E-mail: query-leading-ocha@cc.ocha.ac.jp
お問い合わせは、原則電子メールでお願いいたします。

【備考】

応募書類は、封筒表面に「リーディング大学院推進センター特任講師応募書類在中」と朱記し、書留又は簡易書留で郵送（宅配便も可）のこと。E-mailでの送付は受け付けない。なお、応募書類は、返却するので、必ず、返送用封筒（切手等貼付、返送宛先明記）を同封すること。

【別紙】

博士課程教育リーディングプログラム＜「みがかずば」の精神に基づきイノベーションを創出し続ける理工系グローバルリーダーの育成＞の概要

日本の持続的発展のためにはイノベーションの創出は常に必要である。一方、少子高齢化社会においては、潜在的労働力である女性の活用は必須の要件である。このような状況に鑑み、本プログラムでは特に女性人材が不足している理工系分野において、物理・数学・情報等を基盤的素養として持ち、それによって社会のニーズがどのように変化しても柔軟に対応でき、しかも社会が必要とするイノベーションを創出し続けることのできる理工系女性人材を、企業等と密接に連携をとりながら養成する。さらに、グローバル社会で活躍できるよう、グローバル人材に求められる3要素（①語学力・コミュニケーション能力、②主体性・積極性や協調性・柔軟性等、③多様な文化に対する理解）に加えて、情報発信や情報収集に不可欠なIT技術を兼ね備えた人材を養成する。本プログラムは5年一貫の大学院教育プログラムである。主専攻において各自の専門性を極めながら、副専攻において「Project Based Team Study (PBTS)」により、俯瞰力とコミュニケーション力に優れ、国際感覚をもって課題を発見し解決できる人材の育成を目指す。「PBTS」とは異質な分野の異質な性質の院生がチーム (cross functional team) を作って、「みがかずば」の精神に基づいて互いに切磋琢磨し、自ら企画した理工系分野における課題を、チーム力を高めて解決に導くチーム研究である。

本学がこれまでに行ってきた女性リーダー育成に関する実績をもとに、上記のプログラムによって、修了後には社会の即戦力となり、将来多様な人々や考え方を柔軟にまとめるソフトリーダーとなる人材を育成する。